

研究機関名：東北大学

受付番号： 2009-452
研究課題名 細胞周期プロファイリング及び esRAGE 発現解析による肺癌予後予測因子の開発
研究期間 西暦 2010 年 4 月（倫理委員会承認後）～2015 年 3 月
対象材料 ■病理材料（対象臓器名 肺） □生検材料（対象臓器名) □血液材料 □遊離細胞 □その他 () 上記材料の採取期間 西暦 2000 年 1 月～2009 年 12 月
意義、目的 我々は東北大学医学部倫理委員会承認を受けた研究課題「細胞周期プロファイリング及び esRAGE 発現解析による肺癌予後予測因子の開発（受付番号：2007-283）」において、手術で得られた肺癌組織を用いた予後予測因子の開発をシスメックス株式会社と共同で進めています。 現在の所、肺癌とくに早期肺癌において、手術のみで癌の治癒が得られるのか、または抗癌剤などの追加治療が必要なのか判断することは出来ません。早期肺癌の術後5年生存率は約80%です。反対に残り20%の方は癌の再発等でお亡くなりになっています。今回の研究で、この20%の方を早い段階で見つけることが出来れば、そういった方に抗癌剤治療などの治療を集中的に行い、予後を伸ばすことが可能になると考えています。反対に、予後が良いことが予測される方には、不必要な抗癌剤治療をすることが回避され、医療経済的にも有意義であります。 この研究では、手術で治療のため摘出された組織のみを使用します。検体は番号で管理され、個人を特定する情報が外部に漏れることはありません。 本研究は、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針（平成20年7月31日改正）」の「第5 試料等の保存および他の機関等の資料等の利用」に基づき行います。
方法 手術で摘出された癌組織より蛋白と mRNA を抽出し、細胞周期に影響する因子の活性を調べます。また、病理スライドの免疫染色で、目的とする蛋白の発現を調べます。
問い合わせ・苦情等の窓口 住所：980-8575 仙台市青葉区星稜町 2-1 東北大学大学院医学系研究科先進感染症予防学寄附講座 電話：022-717-7184, FAX：022-717-7576 担当者：東北大学大学院医学系研究科先進感染症予防学寄附講座准教授、医師 久保 裕司（くぼ ひろし）